議　　題

教育関係部課長会議

議題１　GIGA スクール構想実現に向けた ICT 環境整備後の端末の活用方法について（一宮市提出）

【要旨】

「GIGA スクール構想」に向けた ICT 環境の整備を各市において対応され、学校内外で活用されていることと思います。そこで、以下のことについて、各市の状況をご教示ください。

（１）端末を授業で活用する学年について

①全学年で活用　②一部の学年で活用（　（例）小学校１、２年生除く学年）

③検討中　④その他（　　）

（２）授業での活用内容について具体的な内容を教えてください。

（例）児童生徒が互いの考えを端末に入力してクラス全員が互いの考え方を共有し議論して考えを深めたり、ドリル教材を用いて個別にあった問題を解決したりする。

（３）家庭への持ち帰りについて

①実施中（全児童生徒対象）

②実施中（一部児童生徒対象）（　（例）小学校１、２年生除く学年）

③検討中

④実施の予定なし

（４）【（３）で①②実施中又は③検討中と回答した場合】故障や盗難等の対応についてご教示ください。

（例）保険で対応。

（例）家庭に一部あるいは全部負担を求めている。

（５）【（３）で①②実施中又は③検討中と回答した場合】通信環境の無い家庭への対応についてどのように行いますか。

（例）WiFi ルータは貸し出すが、通信契約は家庭で行う。

（６）【（３）で①②実施中又は③検討中と回答した場合】家庭での充電はどのように行いますか。

①行っている（別途 AC アダプタを購入）

②行っている（充電キャビネットから外した AC アダプタを持ち帰り）

③行っている（その他）

④行っていない　　※そのために支障が出た具体例があればご教示ください。

（７）【（３）で①②実施中又は③検討中と回答した場合】持ち帰りを想定したフィルタリングソフト（OS 標準機能以外）は導入していますか。

①導入済み

②導入予定

③導入予定なし

④検討中

議題２　ＧＩＧＡスクール端末の家庭への持ち帰りについて（豊川市・蒲郡市提出）

【要旨】

要旨：豊川市では、家庭への持ち帰りについて課題が多いことから、当面は学校内での活用を優先させる予定です。しかし、大規模災害や感染症拡大等の緊急時における学びの保障として、また、日常的な家庭学習のツールとして、持ち帰りに対する保護者の期待も高まっています。そこで、今後の対応の参考にしたいので、下記事項について、各市の状況をご教示ください。

（１）家庭への持ち帰りについて

家庭への持ち帰りを実施（段階的実施や予定等を含む）していますか。実施している場合は、貸出期間等（常時貸出 or 夏季休業中や非常時のみ等）についてもご教示ください。

（２）故障時等の対応について

豊川市では、年間保守契約等は締結しておらず、故障時には修繕料で対応しています。各市で保守契約等を締結している場合は、契約内容（金額（内訳）、持ち帰りも補償対象か等）を、また、保護者に故障時等の誓約書や保険加入等を求めている場合はその内容についてもご教示ください。

（３）情報セキュリティ対策について

豊川市では、教育ネットワーク内でセキュリティ対策を行っており、個々の端末（小学校 iPad・中学校 Windows）はセキュリティ対策を行っていません。このため、家庭の Wi-Fi 環境等に接続する場合は無防備となってしまいます。各市の情報セキュリティ対策の状況や課題等（貸出端末のフィルタリングを解除して家庭でゲーム利用の新聞報道も）についてご教示ください。

（４）通信環境のない家庭への対応について

豊川市では、昨年度、今後の臨時休業を想定して貸出用モバイルルーターの補助要望をしましたが、利用しなかった場合、会計検査で返還を求められる可能性があるため辞退しました。各市における貸出用モバイルルーターの整備状況（貸出対象者・台数等）や通信料の予算措置状況（通信容量・単価・利用月数・通信事業者名等）についてご教示ください。

議題３　教員の勤怠管理について（半田市提出）

【要旨】

平成３１年３月に文部科学省から「学校における働き方改革に関する取組の徹底について」の通知があり、その一環として教職員の勤務時間管理を徹底とともに、教育委員会には、「自己申告方式ではなく、ＩＣＴの活用やタイムカードなどにより勤務時間を客観的に把握」するシステムの構築が求められました。

本市においては、令和３年４月から下記クラウド型のシステムを導入しているところですが、運用上様々な課題も発生しています。貴市の導入状況等をご教授ください。

半田市の導入状況

① 導入システム：（株）ラスク「楽楽勤怠」

② 対象職員数：約７００名

③ 導入費用：約７０万円

④ 課題等：学校の分刻みの休憩時間にシステムが対応できず、時間休管理ができないため、結果として年休管理ができていない。

議題４　部活動改革に伴う取組状況について（豊田市提出）

【要旨】

豊田市では、教員の多忙化解消と、生徒自身の主体的な活動の選択を促すため、休日部活動を令和５年度に地域移行することを目指している。

学校教育の所管課（教育委員会学校教育課）の主導で令和３年度に各学校に設置した「地域学校共働本部」が主体となってモデル事業を実施する一方、スポーツ・文化の所管課（生涯活躍部生涯スポーツ推進課、文化振興課）が支援する既存の地域スポーツ・文化団体との連携、協力は得られておらず、最終的な地域移行の姿を模索している状況である。

部活動は分野も幅広く、学校の規模や立地条件等も多様であり、地域移行に向けた課題が多いことから、各市の取組等現状について、ご教示ください。

（１）地域移行の時期

（２）地域移行後の受入先（スポーツ・文化それぞれ）

（３）学校教育所管課とスポーツ、文化所管課との連携体制

（４）具体的な取組内容（スポーツ・文化それぞれ）

（５）取組や検討が未着手の場合、着手予定時期

議題５　給食費の自治体直接徴収（公会計化）について（犬山市提出）

【要旨】

給食費の徴収について、犬山市では、国が推進している公会計化（保護者から徴収する給食費を、学校を介さずに直接自治体が徴収する）について、検討を始めています。

既に保護者からの直接徴収を実施している自治体があれば、その徴収方法について、ご教示ください。

また、現在検討中の自治体については、その進捗状況についてご教示ください。

＜特に教えていただきたいこと＞

① 給食費直接徴収の具体的な仕組みについて。

② 給食費とその他の学校納付金とを分けて徴収しているか。一括徴収しているか。

③ 給食費等の徴収システムを活用しているか。使っている場合、どんなシステムか。

④ 徴収システム等一連の費用はどの程度必要か。（初期費用及び経年費用）

⑤ 自治体が直接徴収するにあたって、その職務に要する人員や時間はどの程度必要か。また、導入までにどれくらいの期間必要か。（必要見込みか。）

⑥ 共同実施について、検討しているか。

※犬山市の現状：給食費は各学校が徴収し、市に納入する方式。　食材代の支払いは市が行う。

⇒形式上は、給食費は歳入、食材費用は歳出となっており、『公会計化』はされているものの、学校経由であり、国が推進する保護者からの直接徴収とはなっていない。

議題６　スクールソーシャルワーカー等について（知多市提出）

【要旨】

本市では、令和２年度からスクールソーシャルワーカーを配置し、報酬は、謝金（３，０００円／時間）にて対応しています。しかし、現在の謝金対応では、継続勤務や人材確保が難しいことなどが課題となっております。

貴自治体の状況について、教えてください。

（１）任用形態と人数を教えてください。

①常勤職員（　　人）

②任期付職員（　　人）

③会計年度任用職員（　　人）

④謝金対応（　　人）

⑤その他（委託契約等　　）

（２）予算の積算方法

月給、日給、時給　（　　円）

（３）勤務時間他　　（１日　時間、週　日、年　週　）

知多市の状況

（１）④謝金対応（　１人）

（２）予算の積算方法　時給（３，０００円）

（３）勤務時間他　（１日６時間、週３日、年４５週）